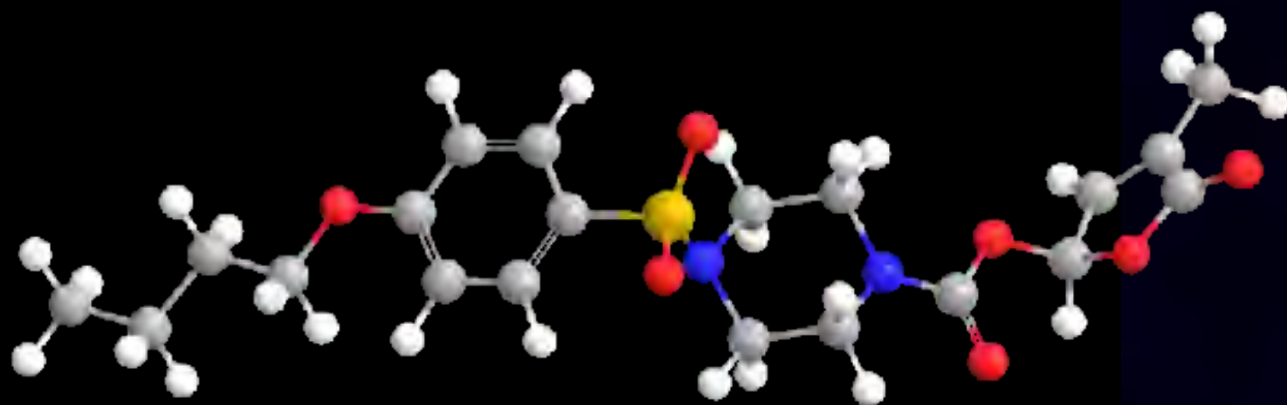
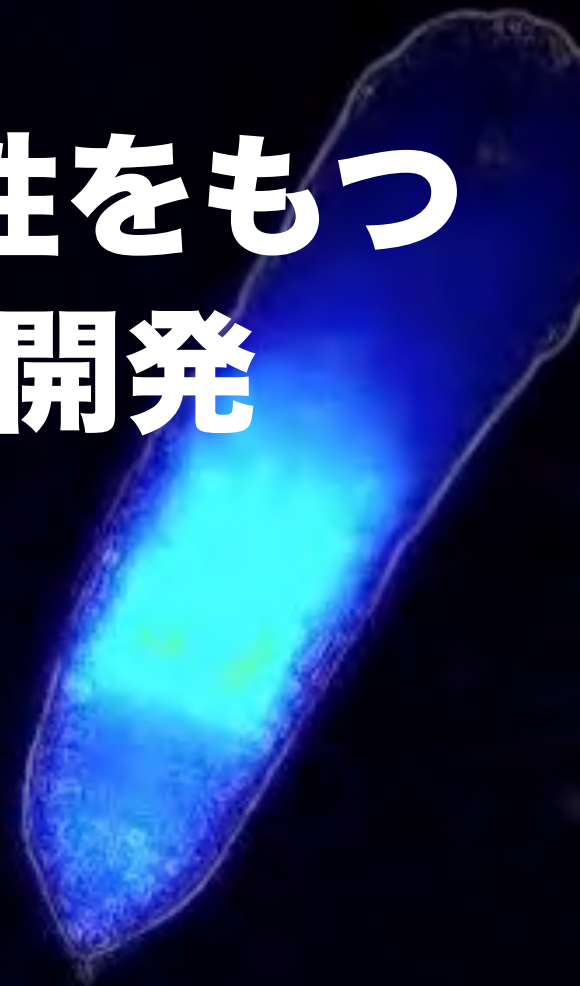


ストライガ撲滅の可能性をもつ ITbM分子をついに開発



スーパーストリゴラクトン
(自殺発芽促進分子)
Science (in press)



ヨシムラクトン
(発芽可視化分子)
Science (2015)

土屋・木下グループ (植物科学)、大井グループ (触媒化学)、伊丹グループ (合成化学)、理論化学グループ、分子構造センター、ライブイメージングセンター、ケミカルライブラリーセンター

いざ、ケニアへ!!




ITbM 土屋雄一郎准教授 in ケニア

ケニア共和国

2018年7月16日



ITbM 土屋雄一郎准教授 in ケニア



ケニア共和国の湖岸開発公社(Lake Basin Development Authority, LBDA)にきました


ITbM 土屋雄一郎准教授 in ケニア



寄生植物ストライガの撲滅のため、
圃場実験を行う件で話し合います。

ITbM 土屋雄一郎准教授 in ケニア


Evans A. Atera
Managing Director, LBDA



この湖沼周辺の畑で、
数え切れない数のストライカが寄生しています。

ITbM 土屋雄一郎准教授 in ケニア

Evans A. Atera
Managing Director, LBDA



畑一面が、無数のストライガの花のせいで、
完全に紫色に染まってしまいました。

ITbM 土屋雄一郎准教授 in ケニア

Evans A. Atera
Managing Director, LBDA

もし分子の力でストライガを撲滅することができたら、
アフリカの農業にとって大きなブレイクスルーになります。

ITbM 土屋雄一郎准教授 in ケニア

Evans A. Atera
Managing Director, LBDA

ストライガが種子をつける前に、
ベストなタイミングで自殺発芽させる分子を散布すれば

ITbM 土屋雄一郎准教授 in ケニア

Evans A. Atera
Managing Director, LBDA

これまでにはない完璧なストライカ撲滅方法となるはずです。